

最上進水件

七

1309

一、概況  
通  
り

副官 

参事官 

發付 


年 月 日 起案

大臣

次官 


軍務局 

局員 

經理局 

主任局員 

艦政本部 

第三部長 

第四部長 

明治四十年三月三日

海軍大臣

三菱元寶金社社長

津水武之代理現場、

長崎三井物産株式會社  
官房第一〇九號

每頁

3-17

3-17

1310

3.13

陸軍の三月二十五日迄水とをメラレ改と  
陸軍の軍中如大也代陸軍と海軍者  
軍務局長武高和野の事務場也  
と云

史記

陸

共覽

電報

軍務局

送達

紙部

受信人住所氏名

全

發

アサヒ新聞

第七

三月二十九日

午後一時

會計課長

信部

第四部

局長

指定

村松

注意

他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符  
號シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ  
法ニテ其受取人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ

事記

三三三

最上豫定、通、午後

三月廿九日

軍務局長

1312

3-26-A

12/10

大臣

兵

電

報

軍務

達

艦政

紙

軍令

局

名氏所居人信受

發

第

三月

二月

五日

局

報

定指

村松

意注

名氏所居人信受

他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符  
號シ直チ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ  
テ其取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラス

事記

最上奉日午後所  
無事進水、非  
野前不  
三月五日

冬鎮長

1313

3-27-11